

令和5年度中国地区高等学校通信制教育研究会 総会並びに研究協議会（鳥取大会） 実施報告書

事項	内 容
事業名	令和5年度中国地区高等学校通信制教育研究会 総会並びに研究協議会（鳥取大会）
期 日	令和5年10月10日（火）から10月11日（水）
開催場所	鳥取県立生涯学習センター県民ふれあい会館
主 催	中国地区高等学校通信制教育研究会
共 催	鳥取県教育委員会
後 援	鳥取県高等学校定時制通信制教育振興会 財団法人日本教育公務員弘済会鳥取支部 鳥取県産業教育振興会 NHK鳥取放送局 NHK出版
参加者	14校 65名（来賓、NHK、NHK出版等含む）
実施目的	確かな学力と生きる力を育むための通信制教育のあり方について、学習指導要領のねらいを踏まえた研究協議を行い、その充実・発展を目指す。
実施内容	<p>令和5年10月10日（火） 第2回中国地区高等学校通信制教育研究会運営委員会（10:00～12:00）                      開会式・総会（13:00～13:50）                      [全体会・研究発表]（13:50～15:00）                      発表校：並木学院福山高等学校（広島）・浜田高等学校（島根）                      [講演会]（15:15～16:45）                      講師：ブリリアントアソシエーツ（株）代表取締役 福嶋登美子 氏                      演題：「夢は叶えるもの～発想の転換から生まれたピンク華麗～」</p> <p>令和5年10月11日（水）                      [研究協議会]（9:15～10:30）                      第1分科会(学校運営・教育課程・事務) 23名                      第2分科会(学習支援「英語・家庭・理科」) 12名                      第3分科会(放送教育) 11名                      第4分科会(生徒支援「生徒指導・教育相談」) 11名                      [全体会]（10:40～11:40）上記4分科会の報告並びに講評                      講評：鳥取県教育委員会事務局高等課 指導担当係長 簗原知也先生                      閉会式(11:40～12:00)</p>
参加費	加盟校：3,000円 資料代（CD）：2,000円
成 果	<p>コロナ禍を乗り越えての4年ぶりの対面開催であった。運営委員会では次年度の全通研大会が広島開催となるため、中通研での役割分担や、協力体制等について確認ができた。また研究発表は私立・公立の二校であったため、運営等の違いが浮き彫りとなり、通信制教育の学校間の差の大きさを改めて参加者に感じさせるものであった。</p> <p>研究協議においては、コロナ禍の中で導入が加速化したICT機器の利用状況をはじめ、多岐にわたる通信制ならではの共通する課題と各校の取り組みの工夫、実践例等について協議した。どの分科会においても活発な意見交換が行われた。全体会講評は、初日の研究発表内容にも触れられ、新学習指導要領についてのお話、各分科会の発表内容について、助言も含めて今後の励みとなるような丁寧な講評をいただいた。</p> <p>最後に閉会式で、中通研会長から大会関係者への謝辞、主管校へのねぎらい、令和6年度全通研広島大会に向けての各校の協力要請等の挨拶があり、令和7年度中通研大会主管校岡山操山高校からの挨拶があり、大会は終了した。</p>

分科会	分野・教科	発表学校名	発表テーマ等
第1	学校運営・ 教育課程・ 事務	新教育課程完成年度に向けたカリキュラム、観点別評価等について、各校の課題と現状を出し合い、フリーな協議を行った。「主体性・学びに向かう力」をどこで評価するについては、各校で様々な取り組みが伺えた。	
第2	学 習 支 援 (英・家・ 理)	義務教育段階の基礎学力が定着していない生徒支援、学習支援について、ICT活用の授業実践例について、協働的な学びを実践するための工夫について、各校の現状を紹介しあい、共有した。参加6校中4校がICT活用、アカウントの配布等実施していた。	
第3	放送教育	放送教育委嘱校2年目の鳥取緑風高校の細田先生の発表 「生徒の自立した学習態度の育成をめざしたNHK高校講座の効果的活用	
第4	生 徒 支 援 (生指・教 相談)	特別な支援が必要な生徒への対応、生徒指導上の問題を起こした生徒への対応等、各校の現状と取り組みについて協議した。顔を合わせる機会が少ない環境なので、事前の情報収集、情報共有、学校のルールの周知徹底等、といった工夫について話し合った。	
研究発表		並木学院福山高等学校 教頭 長尾 恵	「本校の現状と取り組みについて」 ICT学習支援教材を利用した学習指導の取り組みの紹介
		島根県立浜田高等学校 副校長 池永和江	「10周年を終えて～本校の現状と課題」 自治体からの支援を受けた取り組み等について
講演会	講 師 名 (所属・職名)		講 演 題
	福嶋 登美子 (グリアントアソシエイツ (株) 代表取締役)		夢は叶えるもの ～発想の転換から生まれたピンク華麗～